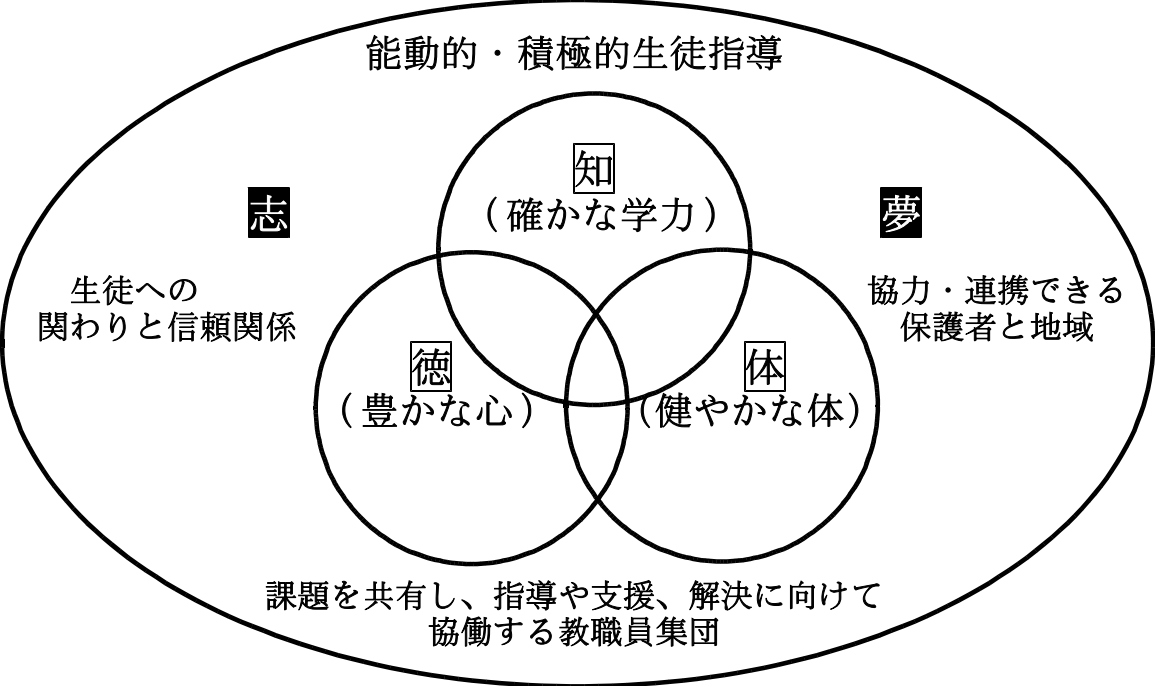


【校訓】 創造 ・ 協調 ・ 実践



【学校教育目標】(めざす生徒像)

知・徳・体に励み、夢や志をいただき、主体的に行動できる生徒の育成

- ①自ら学び、考え、判断できる生徒
- ②自らを律し、努力を惜しまぬ生徒
- ③他を思いやり、共感できる生徒

【学校努力目標】(めざす学校像)

課題を共有し、指導や支援、解決に向けて協働する教職員集団

- ①規律と礼節を重んじ、清潔で美しい学校文化
- ②認め合い、支え合い、高め合う生徒集団
- ③本気で取り組み感動を生み出す生徒活動

【学校重点課題】(今年度の目標)

- ①目標に準拠した授業づくりと適正な評価の追求
- ②保幼小中連携事業の拡充と促進
- ③生徒の自主活動と心の教育の充実

＜その実現のために＞

知(確かな学力)

- ・学力向上グロウイングアッププランに基づく確かな学力の習得を目指す。
- ・基礎学力の定着のため、反復学習や放課後学習、家庭学習を充実させる。
- ・思考力、判断力、表現力といった応用し活用する力を身につけさせる。
- ・集団づくり、生活指導、人権教育と連動した学習集団を育成する。
- ・生徒の学ぶ意欲の向上をめざした「わかる授業づくり」を浸透させる。
- ・観点、規準、場面を明確にした、授業と一体化した適正な評価を行う。
- ・情報教育の推進と管理、モラルの指導を徹底する。
- ・朝の読書タイムをはじめとする読書活動を推進する。

徳(豊かな心)

- ・生徒の人権感覚を大切にし、いじめや暴力のない安心のできる場所とする。
- ・自分と同じように人を大切にできる、認め合える集団づくりをすすめる。
- ・自身と集団のあり方を考え、規範意識や自律した生活態度を育成する。
- ・様々な行事や体験活動を通して生徒の自主性や主体的行動力を養い育てる。
- ・道徳の時間を核とした学校生活のあらゆる場面で道徳的な行動を身につける。
- ・「ともに学びともに育つ」支援教育の視点を通して、豊かな人間関係を築く。
- ・生徒の個性の伸長を図り、進路や将来に向けての展望を持たせる。

体(健やかな体)

- ・たくましく生きる体力づくり、スポーツ活動・行事に取り組む。
- ・健康教育を通して生活習慣や食生活など自身の健康と体に目を向ける。
- ・保健安全教育、安全指導を充実させ、学校安全と危機対応を常に意識する。
- ・体育活動・行事、体験活動、部活動を充実させ、活力ある雰囲気を醸成する。

*課題を共有し、指導や支援、解決に向けて協働する教職員集団

- ・めざす生徒像を共有し、学校総体としての組織的取り組みを大切にする。
- ・生徒指導に当たっては、組織体制で臨み、毅然とした姿勢を貫く。
- ・校務運営組織の機能化を心がけ、報告・連絡・相談を密にし、連携を大切にする。
- ・経験の少ない教職員の指導育成を通じ、互いの力量強化と人権感覚を磨く。
- ・S C・S S W等との連携を含め、「チーム天王」の体制で生徒・家庭支援を行う。

*生徒への関わりと信頼関係

- ・生徒個々のニーズを見極め、きめ細やかな指導・支援を心がける。
- ・カウンセリングマインドを持って相談活動に当たり、望ましい方向に導く。
- ・生徒一人一人の良さや活躍場面を認め、生徒の変容と発言や行動に敏感になる。
- ・生徒の日々の活動を通して主体的行動を促し、正しい判断力や自治能力を高める。

*協力・連携できる保護者と地域

- ・保護者や地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進するとともに、学校評価に基づくPDCAサイクルにより学校全体がつねに改善をめざす。
- ・保護者との日常的な連携を大切にし、学校と家庭が一体となって見守り育てる。
- ・P T A活動や地域連携、保幼小中高連携による組織的な取り組みを行い、地域の幅広い教育力を学校教育に生かす。